授業改善推進プラン

教科（　　英語　　）　学年（　　1学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

・英語を書く能力が不足している。
・授業への取り組みの中で、振り返りの意識が不足している。
・目標を表示しているが、Today's point という表現で表示しているので、認識されていない。

授業等の課題分析

・授業の中で、英語を書く練習時間がなかなか取れない。
・英語はコミュニケーション活動が大切だが、積極的に参加出来ない生徒がいる。
・授業では、声を出して発音する活動を重視しているが、声が小さい生徒がいる。

目指す授業

・授業の中で、英語を書く練習時間を楽しい時間にする。
・活発にコミュニケーションできる雰囲気を作る。
・理解していると自信がつくので、文法をわかりやすく教えて、自信をつけさせる。

授業改善のための具体的な方策

・授業の中で、英語を書く練習時間を多く取るようにする。
・コミュニケーション活動をたくさん取り入れ、活動に慣れるようにする。
・単語テスト、単元テスト、小テストを繰り返し行い、理解を深める。
・ALT と積極的に英語で会話が出来るように指導する。
・授業の最後に、振り返りの時間を取る。

授業改善推進プラン

教科（　英語　）　学年（　２学年　）

学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートによると「わかった、できたと感じる機会があり、分かりやすい」の項目であまり当てはまらないと答えた生徒が前年度と比較して増えている。授業内容を振り返る場面があまりないと感じている生徒も微増していることから、学んだ内容を理解しきれていないまま次の内容に進んでいる可能性がある。

授業等の課題分析

授業で学んだ内容を振り返る場面や、学んだ内容を統合させる活動が少なかったと考えられる。
授業で理解はできるが定期考査になると分からない、個々の文法は分かっても積み重なると整理できない、という生徒が一定数見受けられる。

目指す授業

・「楽しい」「分かる」と思える授業
・達成感を味わうことのできる授業
・生徒どうしによる学び合いのある授業

授業改善のための具体的な方策

・復習を丁寧に行い、基礎基本事項を繰り返し学習する時間を確保する。
・達成する楽しさを味わうことができるよう、それぞれの活動でスモール・ステップを設定する。
・生徒が学んだ内容を整理したり、定着させたりする活動を増やしていく。
・英語での自己表現活動を通じて、表現する楽しさや達成感を味わわせる。
・他者から学び、表現の幅を広げることにより、発展的で豊かな内容を表現できる力をつける。
・机間指導や口頭でのやりとり、形成的評価を充実させ、生徒のつまずきや理解度を把握する。

授業改善推進プラン

教科（　　英語科　　）　学年（　　３学年　　）

学力調査・アンケート等の課題分析

授業アンケートによると、１００％の生徒が積極的に取り組んでおり、授業に学び合いがあると感じている。一方で「わかった・できた」とあまり感じられない生徒も一定程度いる。また、授業の最後に学習内容を振り返る場面があまりないと感じる生徒も見受けられたことから、定着のための活動を充実させる必要があると考える。

授業等の課題分析

どの生徒も授業に対する心構えができており、集中して取り組んでいる。またクラス内に互いに教え合う雰囲気も見られる。しかし小テストや定期考査の結果などを見ると、学んだことが必ずしも定着しているとは言えない。

目指す授業

・反復学習により基礎・基本を定着させ、実際に運用する力を身に付けることができる授業
・互いに学び合うことのできる授業

授業改善のための具体的な方策

・ペア学習やアクティビティの機会を増やすことで互いに学びあうことのできる時間を多く設定する。
・スピーキングとライティング活動を充実させ、学んだことをアウトプットできる力をつける。
・英語の歌や英語ニュースなど用いて生きた英語や世界の情勢に触れる機会をつくり、学習への動機づけにつなげる。